

創立１４０周年を迎えて

北海道函館商業高等学校
父母と教師の会
ＰＴＡ会長　八　戸　　初

北海道函館商業高等学校が創立140周年という大きな節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

私自身、本校の卒業生であり、現在は三人の子どもたちも本校で学んでいます。長男は本校を卒業し、現在は次男が3年生、娘が1年生として学校生活を送っています。親子二世代にわたり、子どもたち三人と自分自身が同じ学び舎で過ごせたことを、大変うれしく、誇らしく感じています。

私が生徒だった頃を振り返ると、友人と笑い合ったことや、学校行事に一生懸命取り組んだこと、先生方から教えていただいたことなど、今でも心に残っている思い出がたくさんあります。

卒業して年月が経ち、今度は保護者として子どもたちの学校生活を見守ることで、当時とはまた違った視点から本校の魅力を感じています。長男の卒業を見届け、次男と娘の成長を見守る中で、三人それぞれが本校でさまざまな経験を重ねていることを、とてもありがたく感じています。

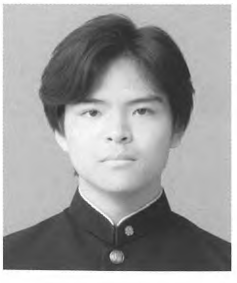
学校での学びは、勉強だけではありません。友人との関わりや学校行事、部活動など、さまざまな経験を通して、人とのつながりや責任感、自分で考えて行動する力を身につけていくのだと思います。子どもたちの成長を見守ることができるのは、保護者として大きな喜びです。

また、PTA活動を通して、先生方や保護者、地域の皆様が子どもたちを支えてくださっていることを改めて感じています。行事やPTA活動をきっかけに、家庭でも学校の出来事を話す機会が増え、親子のコミュニケーションにもつながっていると感じます。

創立140周年を迎えた今、これまで受け継がれてきた伝統や良き校風を大切にしながら、これからも生徒たちが自分らしく未来へ羽ばたいていける学校であり続けることを願っています。

私自身も卒業生、そして三人の子どもを持つ保護者として、本校とのご縁を大切にし、これからも子どもたちの成長を温かく見守っていきたいと思います。

創立140周年、誠におめでとうございます。北海道函館商業高等学校のさらなる発展と、生徒の皆さんの輝かしい未来を心よりお祈り申し上げます。



全日制生徒代表
第77代生徒会長
中　沢　虎　琉

創立１４０周年という記念の年に本校の一員、そして生徒会長であることをたいへん誇らしく思います。

本校の校歌は１０年毎に歌詞の一部が書き変わるため、「百三十年」、「百四十年」の二つの校歌を歌わせていただくことができました。更に今年はＧＬＡＹの皆様より新たな応援歌もいただきました。このような特別な年を迎えられたことを嬉しく思います。

私たち函館商業生徒一同も先輩の皆様が受け継いで来られた歴史と伝統を誇りに思い、これからの函商の更なる発展を図るとともに、この函商の歴史と伝統を次代に繋ぐために、生徒一丸となってその名に恥じない函商生でなければならないと思います。次々と気持ちをつないで、これからも函商の歴史が末永く刻まれていくことを願っております。



定時制生徒代表
生徒会会長
成　田　京　香

今年、創立140周年という大きな節目を迎えられましたことを、定時制生徒を代表して心よりお祝い申し上げます。

長い歴史の中で、多くの先輩方が築き上げてこられた伝統と実績を思うと、改めて本校の歩みの重みを感じます。私たち定時制の生徒も、その歴史を受け継ぐ者の一人として、この記念すべき年を迎えられることを大変嬉しく思います。

全日制と定時制、それぞれ学ぶ時間や環境は異なりますが、同じ「函商」の名のもとで学ぶ仲間であることに変わりはありません。これまで本校を支えてこられた皆様への感謝を胸に、私たちも日々の学習や学校生活を大切にし、伝統ある本校の一員としての自覚と責任を持って過ごしていきたいと思います。

最後になりますが、これからも全日制と定時制が互いに協力し、支え合いながら、さらに発展していくことを願い、お祝いの言葉といたします。